

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 劇団福祉座公演

団体名 劇団福祉座

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に関われた事業でしたか	◎	中日新聞、北名古屋タイムズでも取り上げて頂くなど、積極的に公演内容の周知につとめ多くの市民の皆様にご来場いただくことができた。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	公演は北名古屋市民としての帰属意識を高め、過去の災害の歴史を今に活かすことを狙いとしており、アンケート結果から見る限り市民の利益増進につながったものとする。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	500名の観客を集め盛り上がった公演となった。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	当初の計画どおり予算範囲内で事業遂行ができた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	適切であった。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	平成28年日本経済新聞文化欄で大きく取り上げられ、京都府城陽市社会福祉協議会社会福祉大会、尾張西農協婦人部小牧支部から出演のオファーを得、出張公演をおこなった。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	平成28年公演ではオレオレ詐欺、29年公演では、全国ワーストワンを独走する県下の窃盗被害の実情を、西枇杷島警察署の協力を得て舞台に取り上げ、少なからぬ反響を得た。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	地域に根差し地域に息づく人々の暮らしを描く、オンリーワンのむら芝居劇団として30年間活動を継続しノウハウを以て十分な効果を上げたと自負している。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	福祉座の活動は、スタッフ・キャストの力を結集した総合力により成立しており、そのことが30年間活動を継続した要因となっている。
	・自己資金の確保に努めていますか	○	劇団創設から30年間、入場料をとらず事業を実施してきており、事業費の確保に苦慮しているが、多くの関係者に支えられ今に至っている。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	最低限の経費を以て公演にあたり削減の余地はない。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	当初の目標どおりの成果が得られた。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない